

2009年4月19日

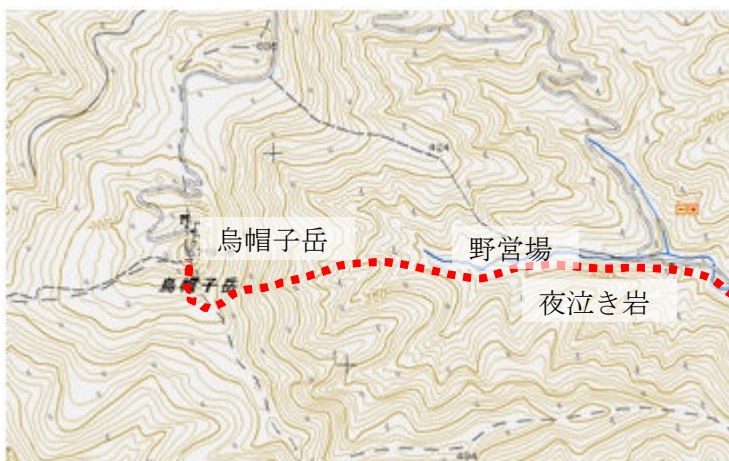
- [ルート] 野営場 ⇄ 烏帽子岳山頂
 [参加者名] CL M.KIKUCHI 他6名
 [コースタイム] 7:50合浦公園P 出発→8:50登山口着～9:05出発→9:27～9:35夜なき岩→
 9:46野営場→11:07休憩所・ブナ原生林案内板通過→11:33山頂着
 11:35～12:07昼食 下山開始→13:07林道分岐→13:30登山口着→
 13:40登山口出発→14:15野辺地駅(トレ休憩)→
 15:00 あたご公園P 解散式 →16:00 青森着

[山行記録]

7:50総勢7名が2台の車に分乗して合浦Pを出発。当初国道4号線を南下する予定を夜越山公園Pでトレ休憩後、平内～野辺地間の農道を直進して野辺地町に向かう。予定より約30分程早く登山口に到着。水ばしょをバックに写真を撮ってから、つぼ足・かんじきそれぞれ身支度後9:05出発。登山道を兼ねた林道は東北遊歩道にもなっていて、要所要所に案内板や標識が設置されていた。右に左に流れが変わる枇杷野川に沿いながら歩く。林道にはまだ雪が残っていて、歩きにくい。9:20山頂まで3.4kmの標識前を通過。間もなく夜なき岩に到着。(9:27～9:35)。野営場まで0.5km、山頂まで3kmの標識あり。9:46野営場前通過。9:50小沢を渡渉。いよいよ本格的な登りになってくる。急斜面を直登して、10:07～10:13小休止。両側にヒバ林が生えている登山道で水分・エネルギーを補給。さらに高度を稼ぎながら10:30ブナ林地帯へ。葉を落とした樹間より山頂が見える。キツツキかな(?), ドラミングの音が聞こえる。さらに直登したり、ジグザグに登ったりして10:55尾根に取りつく。前方に見える雪庇を避けて笹やぶへと進む。(たけのこ平)。11:07休憩所・ブナ原生林の案内板前を通過。頂上まで0.6kmの標識あり。最後の急登となる山頂手前の岩山を雪におおわれた笹に足を取られながら登る。いったん下って再び登り返すと小さな祠があった。登山道の両側には、ピンクのイワナシが咲いていて元気付けてくれた。11:33山頂着。360度の展望が開け、八甲田連峰、大毛無山、三角岳、東岳、高森山の山並みが見渡せる、素晴らしい眺めだ。11:35～12:07昼食。私達の回りでヒオドシチョウがのんびりと羽を休めていた。下山は山腹をトラバースぎみに慎重に下る。雪が柔かく木の回りの空洞に足をすくわれ何度も転倒したが、林道分岐13:07、登山口13:30と全員無事に下山した。

お天気に恵まれ楽しい山行でした。結構、雪が残っていて少し驚きましたが次回は花の季節に登ってみたいと思います。毎回思うのですがドライバー(M.Kさん、Y.Nさん)の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。

報告 E.FUKUI



80 いしくらやま
石倉山 (891m) ~ 81 はちまんだけ
八幡岳 (1022m)

地域 三八上北地方
2007年5月3日

[ルート] 箒場駐車場→石倉山→南八幡岳→八幡岳→箒場駐車場
[参加者名] CL M.KIKUCHI 他8名
[コースタイム] 会事務所 8:00集合 テント装備、食料、水を詰め込み3台の車で箒場駐車場着
市町区界標発→10:25石倉山山頂10:55~11:14→南八幡岳 12:10~(昼食)
12:40→八幡岳山頂12:58~13:10→市町区界標下山着→
箒場駐車場着13:00 宴会16:00~20:30

[山行記録]

春山合宿初日、天気晴、始めにテント設営に取り掛かる。テント山行もしていないせいかポールが折れていた。別のテントがあるので支障はなかったがやはり装備は事前にきちんと点検しておくべきと思知らされた。出来上がったテントに荷物を入れた後、今日の日程の山へ出発。石倉山(891、2m)雪の壁を短い足に見栄を張り踏ん張っても届かず上から差し出してくれた手に助けられ、全員揃ったところから出発。最初は平坦だが、登るにつれて急になってくる。ブナ林を見ながら足を進める。急斜面も平坦になる。尾根どうりに西に進み、尾根のピークを下り二つ目のピークが石倉山山頂です。小灌木と笹に覆われているが三角点があり灌木に 石倉山の標札がさがっています。展望がすばらしく八甲田連峰がきれいでした。

展望を堪能した後、次の山へと足を向け、ブナ林の中をひたすら歩く。ただひとり MF さんだけはスキーで進む。雪のせいか老齡のせいか分からないが折れているブナが多いのに驚いた。痛々しいと思う。ブナ林を抜け稜線に出る。南八幡岳で昼食。見覚えのある人が近づいて来たと思ったら K.K さんでした。言葉交わすもそこそこに回れ右をして大急ぎで帰った。(事後報告でタバコを車に忘れたと聞かされた)お腹も満たされたので次の八幡岳に足を運ぶ。八幡岳の山頂は平坦で岳八幡宮の社が建っている。右手には一等三角点の標石があります。社の前のタバコの吸殻の多さにびっくり。展望を楽しむよりも吸殻拾いに時間を費やした。なぜ、社の前が汚されなくてはいけないのか。マナーが悪すぎます。

スキーの下山は快適そうで早い。朝の足跡を探すも人の記憶もあまりあてにはならないことを認識して下山。登山口で H.N さんが迎えてくれました。テント場に戻ってからの宴会が楽しみです。
K.T さんからビールの差し入れ、ありがとうございました

報告 T.AKIMOTO

